

膠泥ノ種類		ぼーとらんご		鑛		滓	
小壓力ノ反覆回数	鋪ナシ	八三六	七、二六	一〇、一一	四、一一	六、四〇	六、六四
	鋪アリ	八、五七	七、六一	八、三六	三、三三	六、二八	四、九八
一ヶ月凝固ノモノ	鋪ナシ	一三、二七	六、二三	一三、五八	七、八二	一〇、〇六	七、七八
	鋪アリ	八、七八	八、三七	七、〇一	六、五〇	六、七二	五、三三
三ヶ月凝固ノモノ	鋪ナシ						
	鋪アリ						

結論(一)膠着面每平方仙米一、二疋ノ課重ヲ五十回反覆スルモ膠着力ニハ影響ヲ與ヘズ(二)筋鐵ニ鑛アルトキハ膠着力ヲ減少シぼーとらんご膠灰ヨリモ鑛滓膠灰ノ方ニ著シク左ノ如シ

一ヶ月凝固 ぼーとらんご 百分 四、五  
 全 上 鑛滓 百分一五  
 三ヶ月凝固 ぼーとらんご 百分二七  
 全 上 鑛滓 百分二七、七

(膠灰試験并ニ本試験ノ詳細成績表等ヲ省略ス)

○鐵道用冷蔵車ニ件フ困難

Railway Gazette April 9, 1909. 冷蔵車ノ用途擴マルニ從フテ其ヨ

リ滴下スル塩水ノ爲メニ信號裝置、橋梁并ニ軌道ガ蒙ル害モ亦増加シタルニヨリ米國鐵道會社ノ多クノ工務課ハ其調査ヲナスニ至レリ此事項ハ未ダ充分ノ調査ヲ了ラザレドモ工務課ニトリテ極メテ緊要ナルコトハ髓メラレタリ軌條及び其締着具、橋梁、信號裝置等ノ短命ナル

事并ニ特別ニ監視ヲ要スル費用、信號損傷ノ爲メ列車ノ遅延ヲ生ズル等ノ事ハ甚シキモノアリ、冷蔵車一台ハ一日二百ガロンノ塩水ヲ生ジテ之ヲ線路上、橋梁上ニ滴下シ該車が停止セルトキ其害最モ甚シ而シテ冷蔵車毎ニ塩水排出口ノ位置ヲ異ニスルガ故ニ軌道及ビ橋梁等ニ適當ナル防護装置ヲ施スニ困難ナリ (Burlington 線(譯者曰 Burlington ノ名稱アル線路米國ニニツアリ一ハ百〇九哩他ハ六百六哩ニテハ塩水ノ爲メニ橋梁塗替ヘノ費用ノミニテ一年ニ五六万圓ヲ増加シ他ノ一線ニテハ此五六倍ニ達シタルモノアリカク工務課ガ負擔スル費用ノ外ニ車輛修繕ノ増加、列車停止、塩水ノ爲メ自動信號故障)ノ冗費等ヲ見込マサルベカラズ (はし)

○最大ノ汽關車 Engineering News, April 29, 1909. 抄譯 ちうぢるんはしふじく鐵道 (Southern Pacific Ry.)ノ注文ニテはるちうぢん (Baldwin) 汽車會社ノ製造ニカ、ルニ臺ノかれ。ち (Mallet type) 式貨物汽關車ハ實ニ左ノ如キ長大ナルモノナリ (はし)

車軸	前	動	動	動	動	動	動	後	炭水車	全	全	全
	軸上ノ重量 (千磅)	14.5	49.3	49.3	49.3	49.3	49.3	49.3	17.2	42.5	42.5	42.5
重量合計 (千磅)		394.15										
		汽關車ノニ 425.9										
		總重量 596.										
軸距	9'-0"	15'-0"	9'-4"	15'-0"	8'-3"	8'-1"	5'-6"	7'-10"	5'-6"			
	汽關車ノニノ軸距 56'-7"											